

昭和57年8月に上陸した台風10号により、榛名山地区では大雨による土砂災害が発生し、大きな被害を受けました。この被害を受け、翌年昭和58年から土石流予警報装置を活用した住民参加型の避難訓練を毎年実施しており、今年で第44回目を迎えます。地域住民が一体となって取り組むこの訓練は、土石流災害への備えと防災意識の向上を目的としており、長年にわたり地域の安全・安心を支える取り組みとして継続されています。

「～声をかけて みんなで動く まず避難～」



地域住民の避難訓練



サイレン吹鳴(すいめい)による避難誘導



消防団員による防災責任者への報告訓練



自然災害体験車による土石流疑似体験の実施

実施日：令和8年6月30日(火)
10:00～11:00

実施場所：高崎市榛名山町地内
(榛名歴史民俗資料館)

主 催：群馬県、高崎市、榛名山区

参加者：榛名山町地域住民・群馬県
高崎市・榛名山区
利根川水系砂防事務所